

2026年度 複眼×越境の航空学際プログラム
— 設計・製造・運航・地球環境をつなぐ航空人材育成プログラム —
募集要項

1. プログラムの趣旨

気候変動対策、カーボンニュートラル、電動航空機、次世代エアモビリティなどを背景に、航空分野では、従来の専門分野に閉じない総合的な視点が求められています。本プログラムでは、航空機の設計・製造・運航・地球環境の4領域を横断的に学び、講義、見学、ワークショップ、PBL（Project-Based Learning）を通じて、複眼的な思考力と越境的な課題解決力を養うことを目的とします。航空宇宙分野の専門知識の有無は問いません。自らの専門を活かしながら、専門外にも関心を持ち、異なる背景を持つ学生と協働する意欲のある学生を募集します。

2. プログラム概要

実施期間

2026年7月頃～2027年3月末

実施形式

対面、オンライン、ハイブリッド形式を併用します。講義はハイブリッド実施を基本とし、やむを得ず参加できない場合は、後日、講義動画等を視聴して内容を補うことを求める場合があります。

主な内容

講義、対面ミーティング、見学、ワークショップ、PBL、実験・飛行試験関連活動、最終報告会等を予定しています。

主な実施場所

名古屋大学、岐阜大学、名古屋・岐阜周辺の関連施設、協力企業・機関等。3月には東京方面での企業・施設見学も検討しています。

3. 募集対象

以下に該当する学生を対象とします。分野は問いません。

- 大学生・大学院生
- 高等専門学校4年次・5年次・専攻科の学生

航空宇宙、機械、電気・電子、情報、環境・気象、理学、社会科学、人文社会系など、幅広い分野からの応募を歓迎します。

なお、企業訪問やPBLにおいて、国籍情報を必要になることがあることをご了承ください。

4. 募集人数

10～20名程度

※応募者多数の場合は、提出内容に基づき選考を行います。選考では、専門分野、学年・年代、応募動機、プログラムへの参加意欲、対面行事への参加可能性、分野横断的な学びへの関心等を総合的に考慮します。また、応募にあたっては、指導教員またはク

ラス担任の了解を得てください。

5. 参加にあたって期待すること

本プログラムでは、すべての日程への参加を必須とはしません。ただし、9月、12月、3月頃に予定される主要行事については、できる限り参加できるよう日程調整に努めてください。

特に、以下の活動への参加を重視します。

- 7月27日13時～16時（予定）：オンラインキックオフ
- 9月14,15,16日（予定）：名古屋周辺にて対面講義、チームビルディング、見学等
- 12月21,22日（予定）：名古屋周辺にて実航空機を用いた飛行試験、飛行試験関連活動等
- 3月頃：企業・施設見学、最終報告会等

講義については、ハイブリッド形式を基本とします。リアルタイムで参加できない場合には、後日、講義動画等を視聴し、必要に応じて課題・コメント提出等により学習内容を補ってください。

6. 実施内容（予定）

6-0. 説明会（オンライン）

6月1日 13:00-14:00

<https://us02web.zoom.us/j/81577755391?pwd=UDNuxNe2PE7tI7i4WM4HT2qKnI8aTc.1>

ミーティング ID: 815 7775 5391

パスコード: 0icrt2

説明会の録画は後日ホームページにて公開予定

6-1. キックオフ

7月27日13時～16時（予定）にオンラインで実施予定です。プログラムの趣旨説明、年間スケジュールの共有、参加者同士の顔合わせ、PBLや評価方法の説明等を行います。

6-2. 講義

設計、製造、運航、地球環境の4領域を中心に、8～10回程度の講義を予定しています。各回90分程度を目安としますが、内容により変更する場合があります。

講義案

- 設計分野 概念設計の基礎、航空機設計、空力・構造、ドローン・制御関連演習等
 - 製造分野 航空機製造、生産技術、材料、品質管理、製造現場に関する講義等
 - 運航分野 運航の基礎、安全管理、航空気象、運航管理、実運航の現場理解等
 - 環境分野 気象学、気候変動、温暖化と航空機観測、航空分野の環境対応等
- 講師は、名古屋大学、岐阜大学の教員に加え、協力機関・企業等から招く場合があります。

6-3. 対面ミーティング・見学・ワークショップ

9月および12月頃を中心に、名古屋・岐阜周辺で対面のミーティング、見学、ワーク

ショップ、実験等を実施する予定です。

見学先・協力先として、JAXA 関連施設、航空関連企業、製造・運航・観測関連施設等を調整しています。実施時期、場所、内容は、受入先、講師、施設、天候、機材等の都合により変更する場合があります。

6-4. PBL・実験

PBL では、講義や見学で得た知識をもとに、チームまたは個人で課題設定、調査、実験、分析、提案等に取り組みます。12月21,22日（予定）には、名古屋周辺において、実験、飛行試験、観測、ドローン関連活動等と連動したPBLの実施を検討しています。実験用航空機やドローン等を用いる活動については、安全管理、天候、機材、施設、関係機関との調整状況により、内容を変更または中止する場合があります。

6-5. 3月の企業・施設見学

2027年3月頃に、東京方面での企業・施設見学を検討しています。航空会社、研究機関、航空関連施設等の見学を想定していますが、具体的な訪問先、日程、内容は今後調整します。

6-6. 最終報告会

年度末に、学習成果やPBLの成果を共有する最終報告会を実施する予定です。形式はオンラインまたはハイブリッドを想定しています。

7. 費用

参加費は無料です。プログラム参加に係る旅費、宿泊費、見学・実験・PBLに必要な費用等については、原則として本プログラム経費から支援予定です。ただし、予算の状況、参加人数、行事内容、所属機関の規程等により、支援範囲や支給方法を調整する場合があります。なお、食費は原則として自己負担とします。また、集合場所までの一部交通費、保険料、個人的な支出等について、自己負担が発生する場合があります。詳細は参加決定後に案内します。

8. 応募方法

以下の Microsoft Forms から応募してください。

応募フォーム <https://forms.cloud.microsoft/r/w6dUemn5a0>

応募時には、氏名、所属、学年、連絡先、専門分野、応募動機、関心のある領域、主要行事への参加見込み等を入力していただく予定です。

9. 選考方法

応募者多数の場合は、提出内容に基づき選考します。選考にあたっては、以下の観点を総合的に考慮します。

- 応募動機
- 航空、環境、設計、製造、運航、PBL等への関心
- 専門分野・バックグラウンドの多様性
- 学年・年代のバランス

- 対面ミーティング、見学、実験、PBL への参加可能性
- 異分野の学生と協働する意欲

選考結果は、応募時に登録された連絡先へ通知します。

10. 注意事項

- 本プログラムの内容、日程、実施形式、見学先、実験内容等は、今後の調整により変更となる場合があります。
- 飛行試験、ドローン実習、見学等は、天候、機材、施設、受入先、安全管理上の理由により、変更または中止となる場合があります。
- 実験・見学等に参加する場合は、安全指示、施設ルール、受入先の指示に従ってください。
- 必要に応じて、傷害保険等への加入を求める場合があります。
- 企業訪問や PBL において、国籍情報を必要になることがあることをご了承ください。
- 企業・研究機関等の見学では、守秘義務、撮影制限、SNS 投稿制限等が課される場合があります。
- 参加者には、必要に応じて誓約書、同意書、守秘義務に関する確認書等の提出を求める場合があります。

11. 問い合わせ先

高橋 暢宏 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 飛翔体観測推進センター長 教授
〒464-8601 名古屋市千種区不老町

Phone : 052-789-3492 email : ntaka[at]nagoya-u.jp email :

takahashi.nobuhiro.t2[at]f.mail.nagoya-u.ac.jp

本プログラムのホームページ

<https://coso.isee.nagoya-u.ac.jp/ccap/ccap/index.html>

